

利用者のニーズに応える新しいコンビニ（もっけ）の提案

C1240150 安藤 幹

1 現在のコンビニ（もっけ）についての利用者の意見

- ・外から入りやすくして欲しい
- ・教室から遠い
- ・品揃えを豊富にして欲しい
- ・値段が高い
- ・大手のコンビニが欲しい
- ・電子マネーの取り扱いをして欲しい

2 1を踏まえてのコンビニの課題

1の意見の中から、デザイン思考の観点から改善可能だと考える課題に対して課題定義していきたい。まず、場所の立地に関して教育研究棟から離れていため利用者が利用しにくいと考える。また、出入り口が一箇所しかないとめ、出入り口を増やし、多方向から出入り出来るようにすれば利用者が増えるのではないかと思う。

3 プロトタイプの提案

まず、コンセプトとして教育研究棟から近い場所、もしくは教育研究棟とコンビニをアクセスしやすいようにすることがあげられる。また、出入り口を複数箇所設けて、出入りしやすいようにすることで利用者が利用しやすいコンビニになるだろうと考える。

次に、プロダクトとして2種類の案を提案したい。1つ目の案は、新たにコンビニとなる建物を建設し、そこにコンビニ（もっけ）を移転するというものである。コンビニを建てる場所は、教育研究棟からも本部棟からもアクセスしやすい、2つの棟の間の通路となっている場所である。この場所ならば、教育研究棟と本部棟のどちらからもアクセスしやすいだけでなく、公益ホールからもアクセスしやすい場所となる。また、大学の真ん中に当たる場所な為、それぞれの棟からの利用者を平均的に見込めると考える。しかし、カフェテリアか

らの距離が今までより遠くなるので、食べ物を購入してカフェテリアで食べるという行為をしにくくなるというデメリットもある。

2つ目の案は現在のコンビニの場所をそのまま利用し、出入り口を増やすというものである。現在は新世紀館東側の出入り口からしか入ることが出来ないが、北側や西側に新たな出入り口を設ければ、そこからの入店が可能となるため、今まで以上にコンビニに立ち寄り易くなると考える。しかし、この案では教育研究棟からの距離問題の解決にはなっていないため、利用者の大幅な増加は見込みにくいだろう。

4 期待される効果

期待される効果に関してはプロダクトの提案の際にも述べたが、1つ目の案では教育研究棟などからアクセスしやすくなるため利用者の増加が見込めるとと思う。2つ目の案ではコンビニの利用者が今までよりも入りやすくなるため、利用頻度の向上が期待されるだろう。